

## 健康経営への取り組み

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会は、障がい福祉サービスを通して地域社会に貢献することを使命としています。良質なサービスを提供するためには、職員が心身ともに健康であることが第一条件と考えています。

また、健康経営は人材育成において有意義な考え方であり、必要性が非常に高い取り組みです。

そこで、当法人は、職員の働く環境を改善し、健康維持・増進活動への積極的な支援と組織的な健康づくりを推進するため、健康経営の取り組みを2019年から開始いたしました。

## 健康宣言

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会は、障がい福祉サービスを通して地域社会に貢献することを使命とし、「すべての人が尊重され、安心して暮らせる社会の実現」を目指しています。

そのためには、職員一人ひとりの心身が健康で、個性や能力を最大限発揮することが不可欠であると考えます。

社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会は、全国健康保険協会宮城支部と協力し、職場環境を整備し、職員が健康でいきいきと働ける組織づくりに努めることを宣言します。

令和2年4月

社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会  
会長 森 正義

## 健康経営推進体制

法人をあげて「健康経営の推進」を図ることを目的とし、業務執行理事、事務局長、施設長、衛生管理者等で「健康経営推進委員会」を構成し、職員の健康保持・増進への取り組みの情報共有及び課題の把握と改善についての検討を行っています。